



第1章 やさしさと共生するまち

～福祉・高齢者・保健・障害のある方
・子育て支援・男女共同参画～

共に支え合う福祉の基盤づくり	4
高齢者や障害のある方のために	6
高齢社会を支えるために	10
介護保険サービス	11
健康で暮らすために	13
母と子の健康のために	17
子どもたちの健康のために	17
地域医療体制の整備	18
障害のある方のために(助成金・給付関係)	18
障害のある方のために(補助金)	20
障害のある方のために(施設関連)	21
自立した暮らしへの支援	21
地域で担う子育て支援	21
男女共同参画社会づくり	24

第2章 自然とともに暮らすまち

～環境保全・自然とのふれあい・ごみとリサイクル・下水道・火葬場・霊園・防災・消防・救急・防犯・交通安全・消費生活～

資源循環型社会の構築に向けて	26
人と自然のふれあい拠点の形成	26
生活環境の保全	29
美しい自然を守り、 住みよい環境をつくるために	31
下水道事業の推進	32
火葬場・霊園の整備	34
災害に強いまちづくり	34
消防・救急体制の整備	35
犯罪のないまちを目指して	36
交通安全対策	36
安全な消費生活	37

第3章 大地に根ざしたたくましい 産業が躍動するまち

～産業振興・観光・農業・林業・水産業
・経済活性化～

産業を担う人づくり	38
企業誘致の促進	40
世界が集い、 世界が楽しむ北の観光拠点をつくる	40
海と大地の恵みを力に変える	42
まちの経済活性化のために	45

第4章 調和の中でふるさとを 演出するまち

～交通・情報・都市景観・市街地整備
・公営住宅・上水道・公園～

機能的な交通・情報ネットワークで 活力とふれあいを運ぶ	46
交通輸送体系の整備	49
情報・通信体制の整備	49
情報化の推進	51
美しい都市景観の創造	52
住みよい市街地の整備と宅地・住宅の確保	53
水道事業などの推進	54
公園の整備	55

第5章 豊かな個性と 人間性をはぐくむまち

～生涯学習・幼児教育・小中学校教育・特殊教育・高等教育・学習機会・文化活動・スポーツ・図書館～

生涯学習社会の実現を目指して	56
幼児教育の充実	57
小・中学校教育の充実	58
学習環境の整備充実	61
学校給食事業	62
高校教育の充実	62
生涯学習の推進	62
生涯学習諸条件の整備	64
個性豊かなふるさとの文化をつくる	64
生涯スポーツと競技スポーツの振興	69
スポーツ施設の整備充実	69
生涯学習を支える図書館機能を高める	71

第6章 担いあうまちづくり

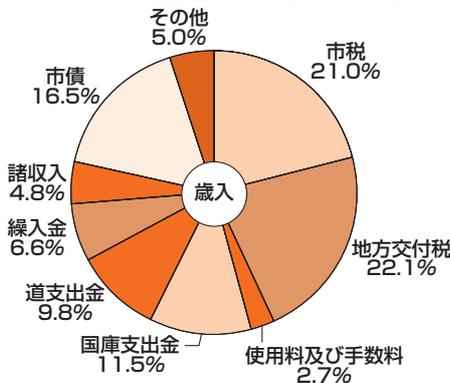
～市民参画・地域活動・地域交流・国際交流～

多彩な地域活動を支援	72
交流ネットワークの形成	73

まちの予算

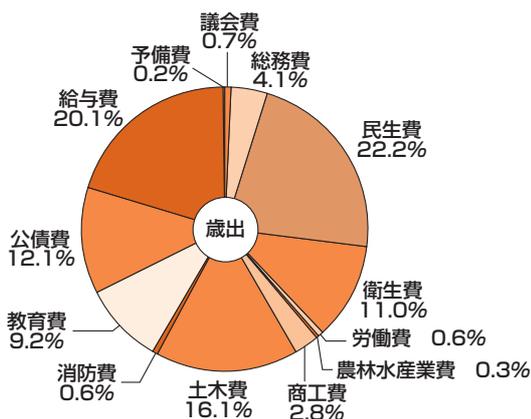
一般会計歳入 (単位：万円)

費目	平成15年度		平成14年度 当初予算額
	当初予算額	構成比	
市税	506,278	21.0%	517,437
地方交付税	534,000	22.1%	556,500
使用料及び手数料	65,204	2.7%	67,773
国庫支出金	276,914	11.5%	263,547
道支出金	235,835	9.8%	244,445
繰入金	159,016	6.6%	141,440
諸収入	114,973	4.8%	104,494
市債	399,700	16.5%	199,420
その他	120,080	5.0%	139,944
合計	2,412,000	100.0%	2,235,000



一般会計歳出 (単位：万円)

費目	平成15年度		平成14年度 当初予算額
	当初予算額	構成比	
議会費	17,507	0.7%	17,668
総務費	100,034	4.1%	112,027
民生費	535,360	22.2%	513,590
衛生費	266,496	11.0%	168,903
労働費	14,284	0.6%	21,167
農林水産業費	8,274	0.3%	9,620
商工費	66,605	2.8%	64,422
土木費	388,119	16.1%	437,157
消防費	13,497	0.6%	19,111
教育費	220,766	9.2%	98,513
公債費	290,786	12.1%	273,634
給与費	485,272	20.1%	494,188
予備費	5,000	0.2%	5,000
合計	2,412,000	100.0%	2,235,000



一般会計歳入

- ◎市税…市民税や固定資産税、都市計画税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税があり、市の収入の5分の1を占めています。
- ◎地方交付税…市が行わなければならない行政サービスを実施するため、財政状況に応じて国から配分されるお金
- ◎使用料及び手数料…ごみ処理手数料や建築確認手数料、戸籍手数料など、利用した方が納める受益者負担金
- ◎国庫(道)支出金…交付金や補助金、委託金があり、市が事業や事務を行うために国や道から交付されるお金
- ◎繰入金…基金(家庭でいうと貯金)を取り崩して使用するお金
- ◎諸収入…貯金の利子や貸付金の回収元金、利子、福祉施設に入所している方に負担金として納めていただくお金など
- ◎市債…施設や道路などを整備する際、通常の財源だけでまかなうのが困難なため、借り入れするお金
- ◎その他…自動車重量税や消費税などの税金の一部が国から交付されるお金など

一般会計歳出

- ◎議会費…市議会に関することに使うお金
- ◎総務費…国際交流や各地域との交流、広報広聴活動などに使うお金
- ◎民生費…福祉に関することに使うお金
- ◎衛生費…健康や予防に関することに使うお金
- ◎労働費…労働に関することに使うお金
- ◎農林水産業費…農業や水産業に関することに使うお金
- ◎商工費…商工業に関することに使うお金
- ◎土木費…都市基盤整備に関することに使うお金
- ◎消防費…火災や救急業務に関することに使うお金
- ◎教育費…教育に関することに使うお金
- ◎公債費…長期借入金の返済に使うお金
- ◎給与費…職員の給与に使うお金
- ◎予備費…予備のお金

特別会計・事業会計

平成15年度各会計予算総括表 (単位: 万円)

会計区分	平成15年度		平成14年度
	当初予算額	構成比	当初予算額
一般会計	2,412,000	54.9%	2,235,000
特別会計	1,818,100	41.3%	1,775,800
国民健康保険	532,420	12.1%	491,480
学校給食事業	35,680	0.8%	37,720
公共下水道事業	374,620	8.5%	352,980
老人保健	624,000	14.2%	653,860
簡易水道事業	4,950	0.1%	3,260
介護保険	246,430	5.6%	236,500
水道事業会計	165,513	3.8%	173,879
収益的支出	94,240	2.2%	94,747
資本的支出	71,273	1.6%	79,132
総合計	4,395,613	100.0%	4,184,679



● **国民健康保険特別会計**
国民健康保険加入者の医療費の一部助成や各種検診の助成、健康づくりなどの事業を行います。

● **学校給食事業特別会計**

市内の小・中学校や保育所に給食を調理・配送し、子どもたちの栄養を満たすことができるおいしい給食を提供します。



● **公共下水道事業特別会計**

都市基盤整備の一環である公共下水道を整備します。本年度は、鷲別町と大和町方面の下水道を整備します。この整備で、登別市の下水道普及率は78%、整備面積は898㎡になります。

また、登別地区の汚水の中継するための幌別ポンプ場は、平成16年度までの2カ年で建設を行い、平成17年度の供用開始を予定しています。

● **老人保健特別会計**

高齢者の医療費軽減を図るため、医療費の一部助成などを行います。

● **簡易水道特別会計**

札内地区などの飲料・営農用水施設の整備を行います。

● **介護保険特別会計**

介護が必要な高齢者などを対象に、在宅や施設での介護サービスを行います。

● **水道事業会計**

安全で良質な水の供給や新配水池の建設、配水管の整備などを行います。



予算のポイント

登別市の平成15年度の当初予算総額は、全会計で439億5千613万2千円となりました。内訳としては、一般会計が241億2千万円、6特別会計の合計が181億8千100万円、企業会計が16億5千513万2千円となっています。

本年度予算は、厳しい財政環境の中、市税や地方交付税などについて、的確な見直しを行うとともに、事務事業や補助金の見直しを実施し、一般事務費や旅費、特別職の期末手当や管理職手当の削減を行い、投資的経費については、優先度や効果などを総合的に勘案して選択するなど、経費全般について徹底した節減合理化に努めました。

一般会計の主な歳入では、市税が当初予算としては6年連続で減少し50億6千277万円、地方交付税については53億4千万円、市債は、火葬場建替事業充当債や墓地造成事業充当債、新市民プール建設事業充当債など39億9千700万円を見込んでいたほか、財源不足を補うため、財政調整基金積立金と減債基金積立金から5億8千万円を取り崩すなどして、厳しい財政状況に対応します。

一般会計の主な歳出では、必ず支出しなければならぬ義務的経費について、人件費は6千万円減少したものの、扶助費が2億円、公債費が1億7千万円以上増加したため109億7千82万円となり、都市基盤整備など公共事業のために支出する『投資的経費』は、新市民プールや新火葬場などの大型単独事業が本格化することから、16億9千591万円増え、57億1千558万円となりました。

